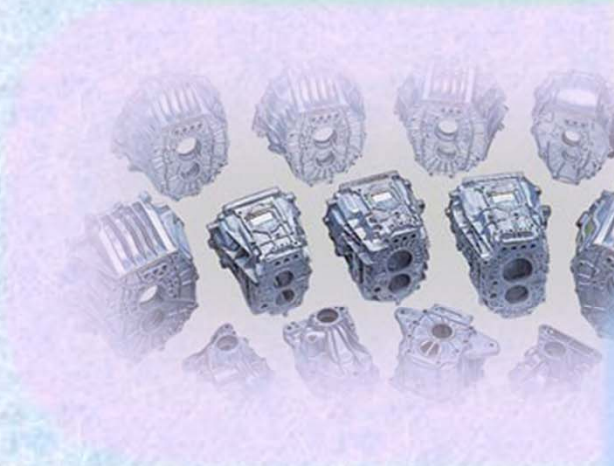
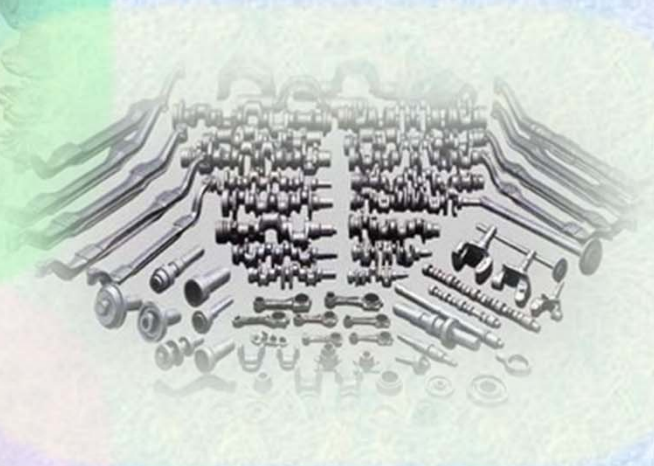
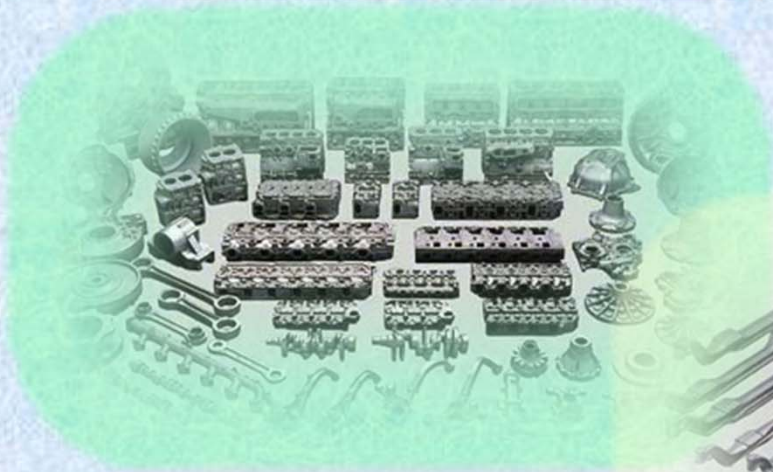


テクノメタル 環境報告書 **2018**



テクノメタル環境方針

基本方針

当社は、天然資源やエネルギーを多く消費する企業であり、自然環境の保護・保全が地域環境はもとよりグローバルな重要課題であることを認識し、環境改善と地域との共生を推進します。

行動指針

1. 法規制の順守と社会的責任

法令、条例、協定、同意するその他の要求事項を順守し、社会的責任を遂行します。

2. 環境負荷の低減

CO₂排出の抑制、省エネルギー、汚染の予防及び廃棄物削減に重点的に取り組み、環境リスクの低減と工場のグリーン化を推進します。

3. 環境パフォーマンスの向上

環境マネジメントシステムの継続的改善による環境パフォーマンスの向上を図ります。

4. 社会貢献

地域住民、行政等と連携を取り、社会貢献活動を積極的に推進します。

5. 環境情報の開示

環境関連情報を広く公開し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

目 次

環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

環境マネジメント・・・・・・・・・・・・5

地球温暖化防止・・・・・・・・・・・・7

廃棄物の削減・・・・・・・・・・・・・・9

有害物質の管理・・・・・・・・・・・・11

事業活動の環境負荷・・・・・・・・・・12

環境保全、地域社会及び社員との共生・・・13



テクノメタルは 温暖化防止、持続可能な社会形成に 貢献できる企業に！



代表取締役社長

— Challenge the Impossible —

当社は、環境方針に「自然環境の保護・保全に向けた環境改善と地域との共生」を掲げ、・法規制の順守、・環境負荷低減、・環境パフォーマンス向上、・社会貢献、・環境情報開示の5つの行動指針に基づいて、活動を行い、地球温暖化防止や循環型社会の形成に繋がっています。

— 法規制の順守 —

コンプライアンスは、ステークホルダーにとって最も関心の高いことと認識し、事業活動を継続する上で重要な経営課題として、正しい管理と行動がとれる体制を確立し、法令順守に取り組んでいます。

— 環境負荷低減、パフォーマンス向上 —

地球温暖化防止、循環型社会の形成に向けた、CO₂排出量削減、省エネルギー、廃棄物発生量の低減活動は、鋳造、鍛造事業上の最も重要な活動であり、エネルギーの有効活用、廃棄物の再資源化を推進しています。

エネルギーの有効活用について、近年では、鍛造鋼材加熱炉に省エネバーナーを導入し、これに使用する燃料を灯油からLPGへの変更し、さらなるCO₂排出削減を図っています。また、エネルギーのロスに視点を当てた改善等を重点に進めています。

2017年2月には、「エネルギー管理優良工場 東北産業局長賞」を受賞しました。

廃棄物発生量の低減については、製造部門は、社内再利用を含めた廃棄物発生量の抑制と分別、管理部門は、廃棄物の有価物化と再資源化を進めています。さらには、再資源化の費用抑制やすでに閉鎖されている埋立処分場の廃止に向けた活動も行っています。

— 社会貢献、環境情報開示 —

事業活動を通じた社会貢献と地域に根ざしたボランティア活動や地域イベント協賛・協力等の社会貢献活動を積極的に進めています。

温暖化防止、持続可能な社会の形成や近隣地域の活性化に今後も貢献できるよう取り組んでいきます。

この環境報告書が、当社の環境保全活動に対する取り組みへのご理解いただく一助となれば幸いです。

会社概要

社名	テクノメタル株式会社	
所在地	本社・二本松工場	福島県二本松市高田100番地
	北本工場	埼玉県北本市古市場1丁目100番地
設立	1971年5月20日	
資本金	2,530百万円	
株主	Techno-Metal Amtek Japan Investments Ltd.	
従業員数	679名(2018年11月1日現在)	
事業内容	自動車・建設機械・産業機械用各種鋳造、鍛造及びアルミダイカスト部品の製造販売	

主要顧客	三菱ふそうトラック・バス株式会社	三菱重工業株式会社	日野自動車株式会社
	三菱重工業エンジン&ターボチャージャ株式会社	KYB株式会社	株式会社IHIシバウラ
	三菱自動車工業株式会社	株式会社小松製作所	UDトラック株式会社
	三菱ロジスネクスト株式会社	アイシン高丘株式会社	図南鍛工株式会社
	東京ファブリック工業株式会社	浅井ショーワ株式会社	日産自動車株式会社
	キャタピラージャパン株式会社	井関農機株式会社	住金物産株式会社
	ブラザー精密工業株式会社	ユニキャリア株式会社	日産工機株式会社
	日立オートモティブシステムズ株式会社		

沿革

1970年06月	三菱重工業(株)から三菱自動車工業(株)が分離
1971年05月	三菱自動車工業(株)の全額出資により「東北三菱自動車部品(株)」として設立
1981年04月	東菱機工(株)を吸収合併し北本工場とする
1992年10月	社名を「三菱自動車テクノメタル(株)」と改称
2003年01月	三菱ふそうトラック・バス(株)が三菱自動車工業(株)から当社株式を継承
2003年03月	ISO14001(環境)認証を取得
2003年10月	社名を「三菱ふそうテクノメタル(株)」と改称
2004年06月	ISO9001(品質)認証を取得
2006年02月	旭テック(株)が筆頭株主となる。社名を「テクノメタル(株)」と改称
2007年05月	ISO/TS16949(品質-自動車)認証を取得
2007年08月	旭テック(株)が当社株式を100%取得
2015年06月	Techno-Metal Amtek Japan Investments Ltd. が当社株式を100%取得。
2017年11月	テクノメタル(タイランド)社を子会社化

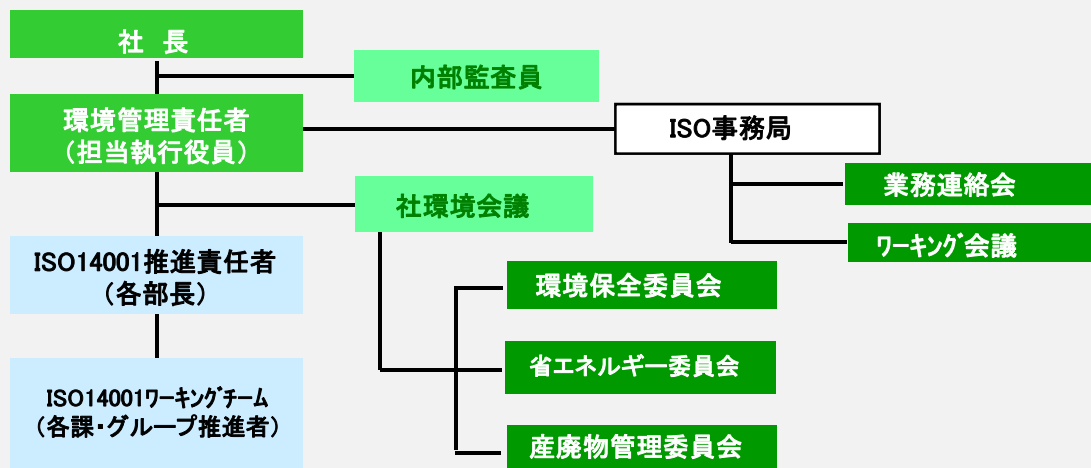
環境マネジメント

■ISO14001取得状況と環境マネジメント推進組織

ISO認証取得

事業所	本社二本松工場、北本工場
取得日	2004年6月
認証登録機関名	BSIグループジャパン株式会社

環境マネジメント推進組織



2004年にISO14001の認証取得を行い、認証機関による外部審査及び内部監査員による監査を定期的に行い、ISO14001規格の適合及び活動の有効性を確認するとともに、社長によるマネジメントレビュー(社環境会議)を2回/年開催し、環境マネジメントの維持、改善に努めています。



第三者審査



内部監査

■環境管理 2017年度活動目標と実績

2017年度環境改善活動結果について、以下に示します。

エネルギー使用量の低減や産業廃棄物の改善は、目標を満足する結果が得られています。また、法令順守については、大気、水質、騒音等の規制値順守を含め適正であることを確認しました。

活動項目	目標	実績	達成度	2018年度活動目標
1. 天然資源の有効活用 〔1〕エネルギーの有効活用 エネルギー使用量削減	2017年度エネルギー使用量 計画の1%削減を目標に 活動 ・二本松工場 466kℓ ・北本工場 10.8kℓ	・二本松工場 536.3kℓ ・北本工場 11.3kℓ	◎	エネルギー原単位実績により得られる2018年のエネルギー使用計画量の1%低減を目標として活動
〔2〕荷主に係わる省エネ	2016年度実績原単位の 1%低減を目標とし活動 目標≤27.94kℓ/百万トンキロ	28.39kℓ/百万トンキロ	○	2016年度目標への再挑戦
2. ゼロエミッションの実現 埋立処分率低減 再資源化率向上	二本松工場 ・埋立処分率≤0.40% ・再資源化率≥94.7% 北本工場は維持管理	二本松工場 ・埋立0.32% ・再資源96.4%	◎	二本松工場 ・埋立処分率≤0.3% ・再資源化率≥96.5%
3. 環境改善 〔1〕法令順守	順守率100%	・法令違反なし ・排出規制値順守良好	○	順守率100% 法令改正確認の徹底
〔2〕公害未然予防	・粉塵飛散対策 ・油水流出防止 ・騒音防止	・集塵機の適正管理 ・訓練と管理の実施 ・騒音防止対策と管理 ルール順守 *苦情：粉塵3件、異臭 2件あり、提供者に対し 適正に処置実施	○	・粉じん飛散対策、評価と運用・監視体制の確立 ・油水流出防止 流出防止対策の運用と訓練 ・騒音防止 夜間騒音の管理順守徹底 ・悪臭未然防止
4. 有害物質の 使用量低減	・化学物質リスク評価 ・有害物質使用量低減	・既存、新規化学物質 リスクアセスメント実施 ・PRTR報告対象製品 の代替え化	○	・化学製品のリスクアセスメント実施 ・有害化学物質含有資材の代替え推進
5. 環境配慮製品開発、 設備計画の実施	・新製品、製造工程の環境 負荷低減 ・設備の計画、工事時の 環境影響評価実施	・製造工程設計時の環境 配慮折込 ・環境影響評価実施し、 著しい影響項目なし	○	・環境配慮事前検討実施 ・設備計画、工事における環境 影響評価実施
6. 社会貢献、 地域社会との共生	・地域活動参加 ・工場周囲環境点検 ・地域活動への協賛 ・地域住民、社員家族対象 イベント開催	・クリーンアップ作戦 剣道大会、納涼祭 ・外構点検 ・提灯祭り、菊人形協 賛 ・緑地・遊歩道開放 体験デー開催	○	・社会貢献活動の計画と実施

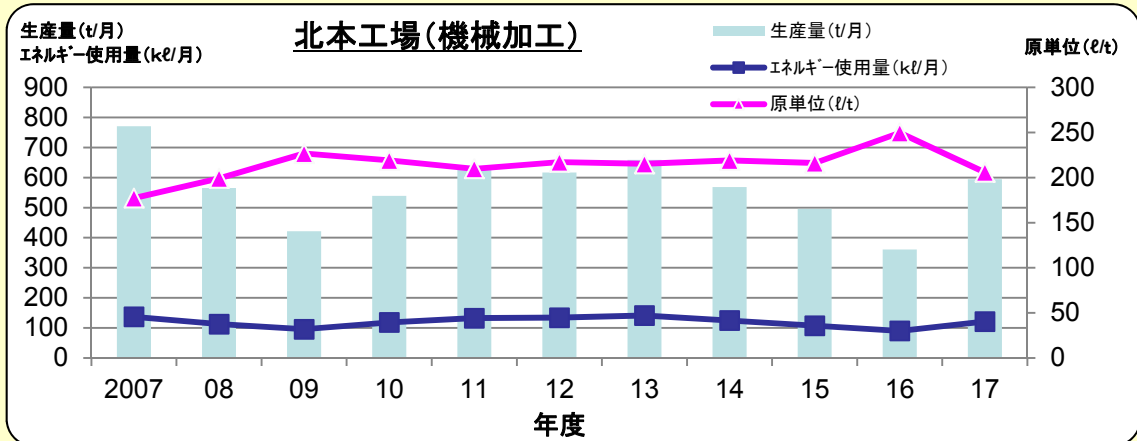
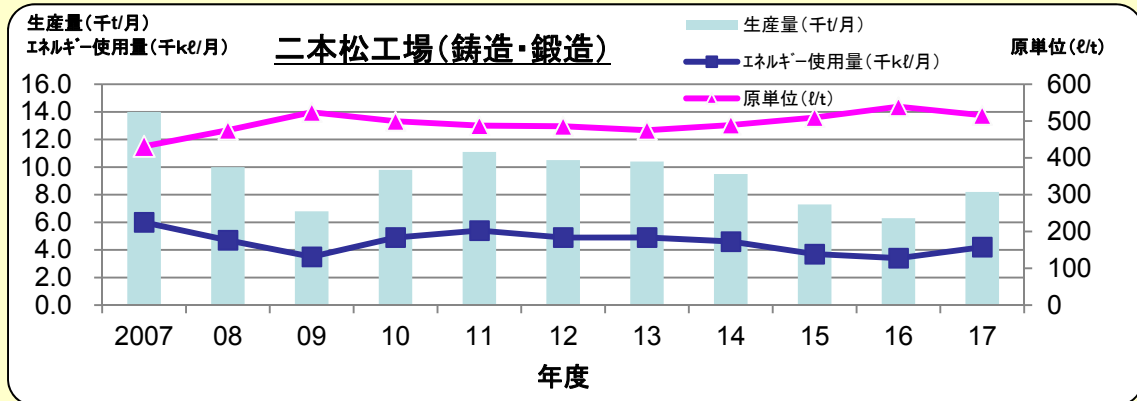
評価(達成度) ◎:105%以上 ○:90%以上(ほぼ達成) △:65%以上 ×:65%未満

地球温暖化防止

■ 省エネルギーの推進

当社は、鋳造、鍛造メーカーとして多くの電力や燃料を消費しており、省エネ及びCO₂の排出抑制を環境改善活動の重要テーマとして取り組んでいます。

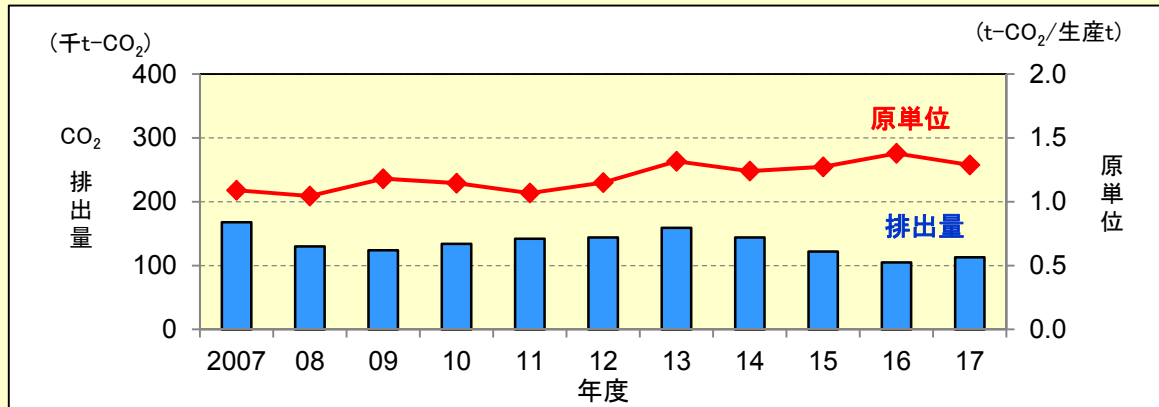
◆ エネルギー使用量、原単位の推移



◆ 2017年度の主な省エネ施策

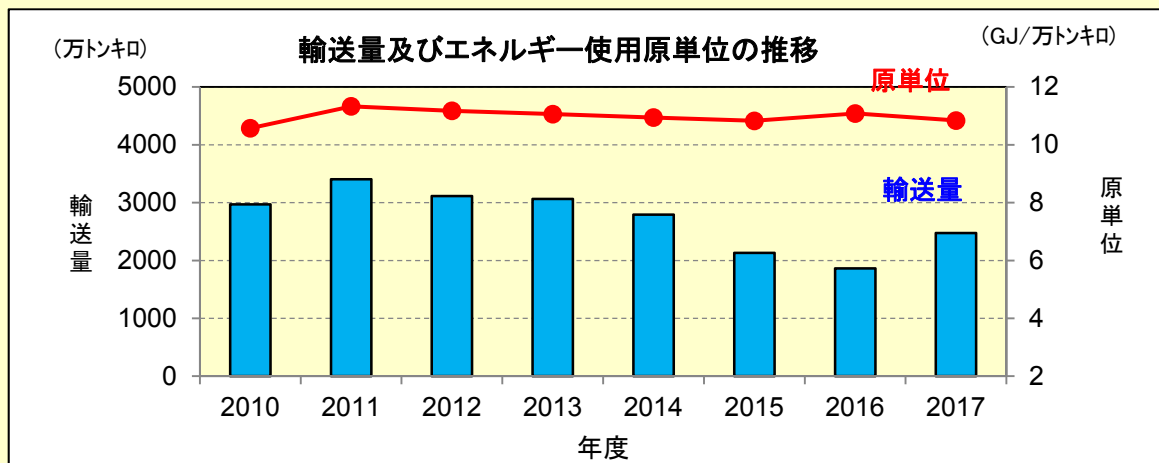
エネルギー	省エネ改善項目	区分
電力	照明のLED化展開	二本松・北本
	操業形態見直しによる溶解電力低減	鋳造
	集塵ダスト処理ブロアー運転間欠化	鋳造
	歩留まり改善	鋳造・鍛造
	鋳造、鍛造各ラインの稼働率改善	鋳造・鍛造
LPG	鍛造加熱炉燃焼効率改善	鍛造
灯油	SR処理レス化展開	鍛造
コークス	キュポラ休風時間低減	鋳造

◆ CO₂排出量と原単位の推移



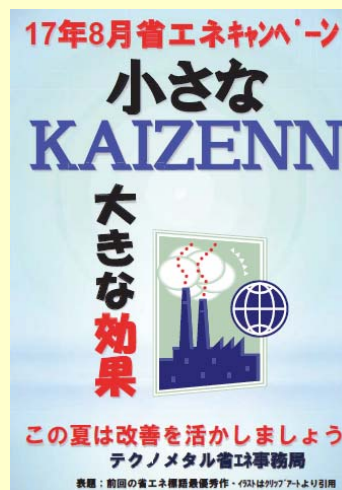
◆ 製品輸送等に関わる省エネ活動

輸送業者及び顧客と連携して、直送化、加工付受注、アイドリングストップ活動、及びデジタコによる燃費管理推進等の活動を実施しています。



対象エネルギー：製品関係の輸送用燃料
対象エネルギー：産業廃棄物関係の輸送用燃料

毎年、2月の省エネルギー月間と8月には省エネキャンペーンと題して省エネ意識向上を目的とした各種行事を展開しています。

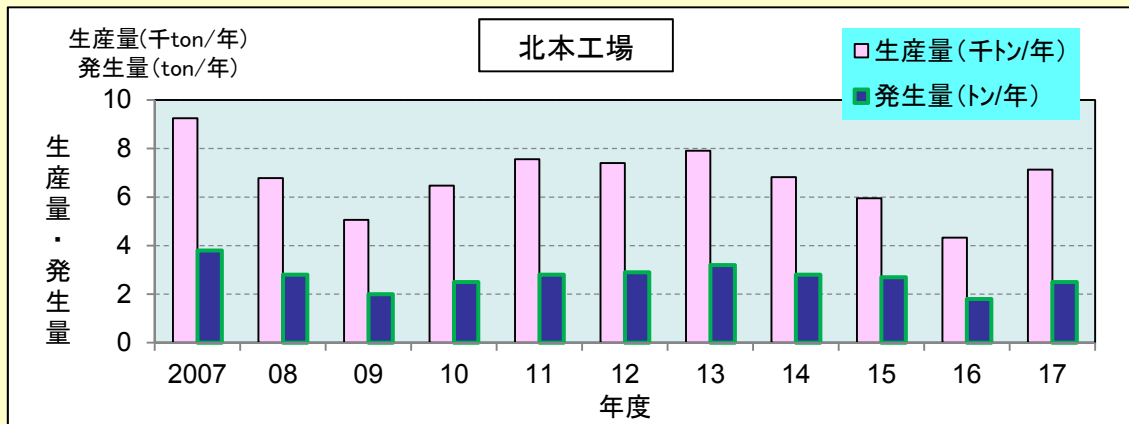
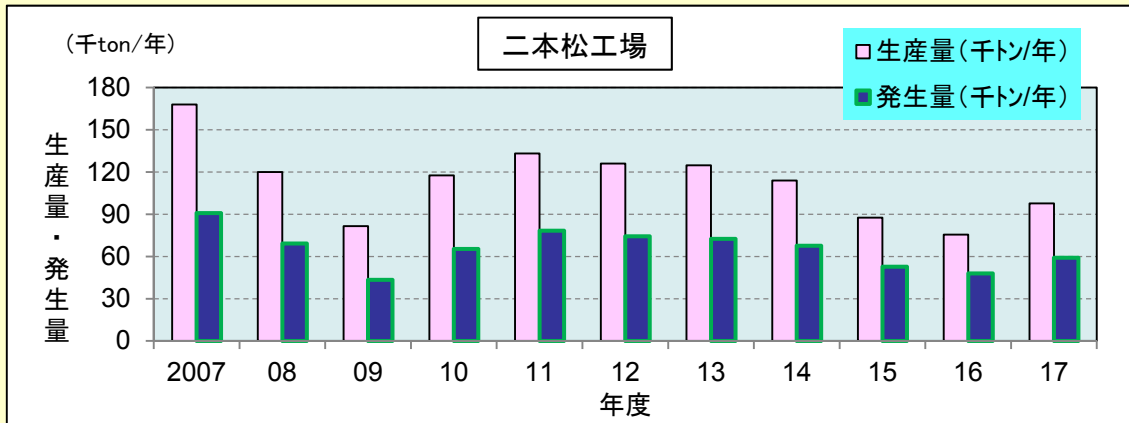


廃棄物の削減

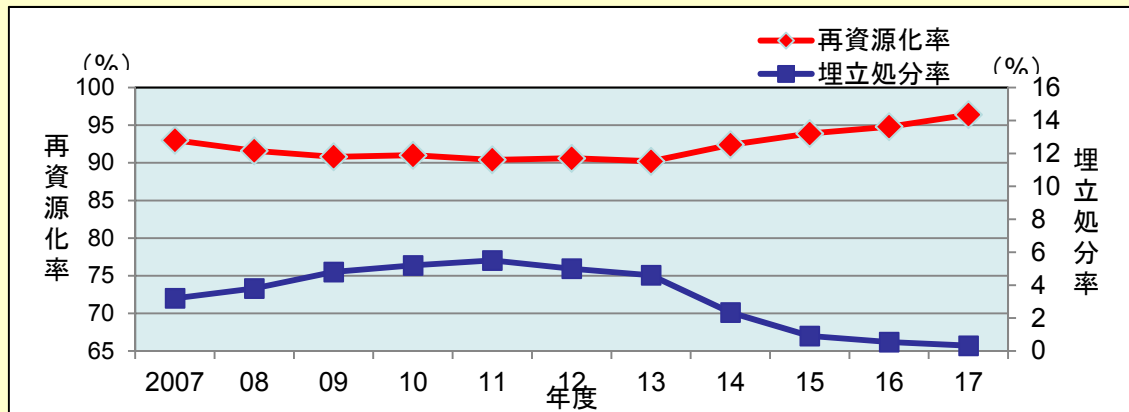
■ 廃棄物発生量の低減

生産活動ではさまざまな種類の廃棄物が発生します。当社では、廃棄物も貴重な資源と考え、全社員が知恵をしぼり、再利用による減量化や再資源化の拡大などに取り組んでいます。また、再資源化利用の有価物化を目指す活動も積極的にも取り組んでいます。

◆ 生産量と廃棄物発生量の推移

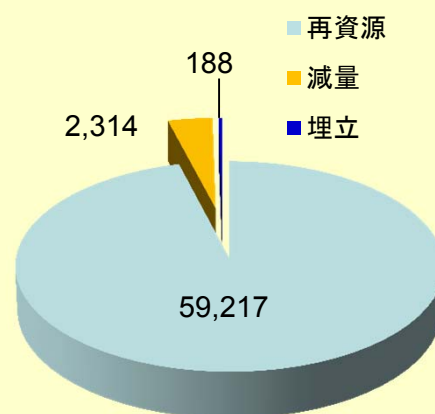


◆ 再資源化率と埋立処分率の推移(二本松工場)



◆ 廃棄物の発生内訳と再資源、減量、埋立処分実績（2017年度）
〔二本松工場と北本工場の合計〕

二本松・北本工場	処理	ton/年
汚泥	再資源、埋立、減量	642
廃油	再資源、減量、有価物	625
廃アルカリ	再資源	0
廃プラ	埋立、減量	101
金属屑	再資源	11,446
ガラス・陶器	埋立	5
鉱さい	再資源	47,253
煤塵	再資源、減量	55
その他	再資源、減量	1,488



◆ 3R (Reduce, Reuse, Recycle) の改善

2017年度の主な改善施策

3R	種類	主な改善内容	区分
Reduce	鉱さい	キュボラ 脱硫スラグ発生低減	鑄造
Reuse	鉱さい	中子砂再生比率アップ	鑄造
Recycle	汚泥	排水工程脱水汚泥再資源化	施設管理
	金属屑	ソリブスケール有価物化	施設管理

有害物質の管理

■PCB(ポリ塩化ビフェニルの管理

二本松・北本工場共に、PCBを含む使用済みコンデンサー類を保管しており、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に定める基準により適切に保管・管理しています。
現在使用中の物を含め、定められた期限内の処置を進めていきます。

◆ PCB保管状況

コンデンサー	保管数量	北本工場	17台
トランス	保管数量	二本松工場	1台
	使用設置数量	二本松工場	5台
安定器	保管数量	北本工場	2台

■PRTR

二本松工場は、PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)に基づく、指定化学物質の排出・移動量の報告義務を有し、その結果を毎年、治自体に報告しています。
なお、北本工場は報告対象事業所に該当していません。

◆ 2017年度 PRTR法に基づく排出・移動量

単位: kg

政令番号	物質名	排出量	移動量	合計
37	44-イソプロピリデンジフェノール		42,000	42,000
53	エチルベンゼン	6,800	100	6,900
80	キシレン	28,780	45,000	73,780
87	クロム及び3価クロム化合物	970	120,720	121,690
258	ヘキサメチレンテトラミン	0	98,000	98,000
277	トリエチルアミン	49	4,900	4,949
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0	51,000	51,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,100	0	2,100
300	トルエン	590	5,300	5,890
302	ナフタレン	32	3,100	3,132
349	フェノール	99	9,800	9,899
412	マンガン及びその化合物	5,300	482,200	487,500
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)＝ジイソシアネート	0	73,000	73,000
453	モリブデン及びその化合物	0	14,000	14,000
243	ダイオキシン (単位:mg-TEQ)	8.5931		8.5931

事業活動の環境負荷

■環境負荷の状況(二本松工場)

当社では、鑄造、鍛造事業の生産活動に使用される、エネルギーや原材料、水、化学製品等のインプットと、製造過程で発生する廃棄物や排水、化学物質の排出量等のアウトプットを定量化、管理し、環境負荷低減活動に活用しています。
以下に2017年度の環境負荷を示します。

INPUT

エネルギー(原油換算)	電力: 34,733 kℓ 燃料: 16,031 kℓ
原 料	鑄造: 72,435ton 鍛造: 35,836ton アルミ: 4,218ton
化学物質	PRTR使用量: 994ton
水	上水: 70,065 m ³ 工水: 404,149 m ³

事業活動

(鑄造・鍛造・アルミダイカスト・機械加工)

OUTPUT

製 品	鑄造: 70,050ton 鍛造: 28,636ton アルミ: 3,121on
廃 棄 物	廃棄物発生量: 59,145ton リサイクル量: 57,018on 最終埋立量: 186ton
化学物質	PRTR排出量: 45ton
温室効果ガス	CO ₂ 排出量: 113千ton-CO ₂
排ガス量	SOX排出量: 19.0 ton NOX排出量: 55.2 ton 煤塵排出量: 7.9 ton
放水水量	排水量: 368,454 m ³ BOD排出量: 0.62 ton COD排出量: 2.13 ton SS排出量 : 0.74 ton

環境保全、地域社会及び社員との共生

■環境保全活動

環境保全委員会の活動を通して、環境改善・環境保全を継続的に進め、「環境にやさしい企業」を心掛けています。

◆構内緑化活動

二本松工場、北本工場ともに、構内は多くの樹木が植えられ、目で四季を感じられます。

二本松工場の北側緑地には、遊歩道を整備しており地元でも名所のひとつとなっています。



◆環境月間行事

環境月間行事では、当社においても、これに呼応した行事を実施しています。

〔活動内容〕

- ・期間中広報ポスターを各職場に掲示して意識高揚を図る。
- ・環境点検
- ・工場周囲クリーンアップ清掃活動
- ・各職場クリーン改善活動・点検



◆工場周辺の環境整備

毎年6月と12月に、工場周辺の環境点検、ごみ拾いを行っています。また、草刈や樹木剪定も定期的に行い、環境整備に努めています。

■ステークホルダーとの交流・貢献活動

◆ステークホルダーとの交流



二本松工場 北側緑地開放デー

草花の開花の時期に合わせ、毎年開催しており、広場にはソメイヨシノを始めレンギョウ、モクレン等、多くの花々が見頃を迎え、来場者を歓迎。



取引先との協調

毎年2回、取引先の皆様を対象に生産情報説明会を開催し、弊社に顕著な貢献をして頂いた取引先様への表彰も行っています。

説明会の後は、グラスを片手に・・・



◆テクノメタルものづくり体験デー

次世代育成支援の一環として、また、社員家族の会社、職場への理解を図り、家族とのコミュニケーションを深める目的として開催しています。



◆ MVP/MVT表彰制度

当社では、環境を含む各種活動において優秀な社員及び職場に対し、表彰制度を設けています。社員全員にチャンスがあり、各種活動に対する積極的な取り組みを促すもので、毎年2回開催しています。

◆ 社会貢献



◆ 道路のクリーンアップ活動

毎年6月と12月に工場周囲の道路清掃活動を行っています。



◆ 地域行事への協賛

北本工場では、自治会主催の納涼祭及び少年野球の練習場としてグラウンドを開放しています。



◆ 地域スポーツ行事への協賛及び後援

地域の各種スポーツ団体の協賛や後援などを通して、未来を担う子供たちの健全育成に協力すると同時に、地元のみなさんとの共生、コミュニケーションを継続していきます。



◆ 二本松提灯祭りへの協賛

毎年10月に開催される二本松提灯祭りに露店を出店し大勢の方に来店いただいています。



◆ 二本松菊人形への協賛

二本松市霞が城公園で開催される「二本松の菊人形」に当社も協賛しています。

テクノメタル株式会社

本社・二本松工場

福島県二本松市高田100番地

北本工場

埼玉県北本市古市場1丁目100番地